広報とべ

2020年3月
No.183

2020年初夏公開予定

映画『未来へのかたち』

スタッフ編

スタッフの皆さんに「今の仕事を選んだ理由」などを聞きました。

――助監督の仕事は？

主に撮影のスケジュール管理です。
今回は、衣装メイク周りのことも担当しています。

――おもてなしの印象は？

ロケで温かい料理を振る舞っていただいたことです。とてもおいしくボリュームもあり、スタッフ一同、元気に仕事ができました。

助監督
吉田至次さん

――町の印象は？

妻が砥部焼が好きで、自宅でも使っています。今回も、お土産にする砥部焼を探すのが、とても楽しみです。

――今の仕事を選んだ理由は？

昔からカメラに興味があったわけではありませんが、たまたま撮った自主映画がきっかけでカメラマンになりました。

撮影監督
今井哲郎さん

――今の仕事を選んだ理由は？

大森監督の自主映画時代に仕事を手伝ったことがきっかけです。監督の作品「海すずめ」からプロデューサーをやっています。

――ロケでの仕事内容は？

基本的には、キャストさんやスポンサーさんの現場でのケアを行います。大森組では、今までの経験から自分の出来る事を役割の枠を越えて手伝い、撮影全体の進行を気にかけます。

プロデューサー

広瀬真寿美さん

――美術の仕事は？

映画に映るすべての絵や小物などを作ります。今回は、窯元の表札や装飾、砥部焼まつりの会場を映画の設定に合わせて作りました。

――今の仕事を選んだ理由は？

もともと美術を目指していたわけではなく、単純に映画が好きでした。映画の仕事を調べたら美術があり、作ることも好きだったので、両方できるという思いで入りました。

美術

濱本愛さん

――録音の仕事は？

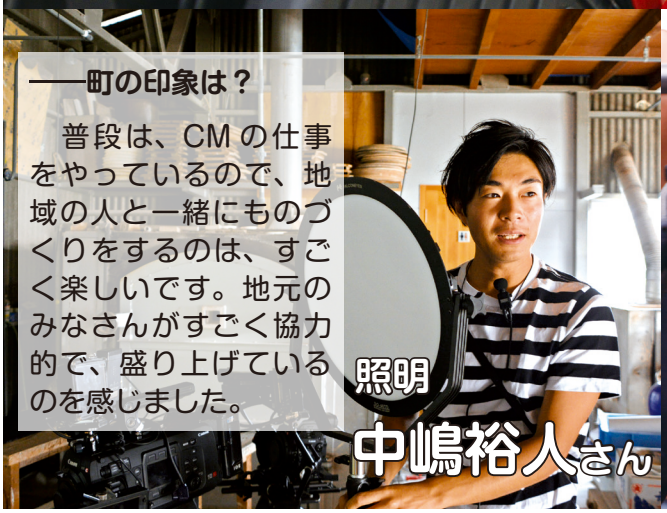
現場の録音だけではなく、映画館みたいな大空間のダビングルームで、監督立会いのもと、効果音と音楽を足し、監督の演出意図を音で表現していく作業を行います。

――今の仕事を選んだ理由は？

映画が好きだからです。録音は、音が好きで、映画の音楽とかにも興味があったので選びました。

録音

湯脇房雄さん

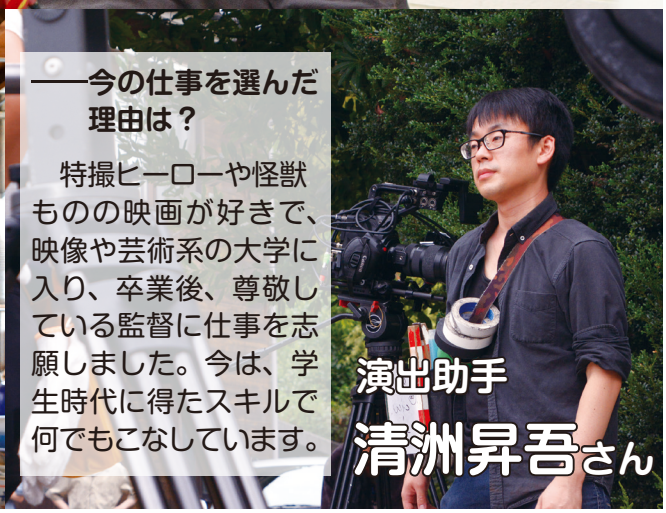


――町の印象は？

普段は、CMの仕事をやっているので、地域の人と一緒にものづくりをするのは、すごく楽しいです。地元のみなさんがすごく協力的で、盛り上げているのを感じました。

照明

中嶋裕人さん



――今の仕事を選んだ理由は？

特撮ヒーローや怪獣ものの映画が好きで、映像や芸術系の大学に入り、卒業後、尊敬している監督に仕事を志願しました。今は、学生時代に得たスキルで何でもこなしています。

演出助手

清洲昇吾さん